

# チェックテスト 解答

## 1章 作業療法評価とは

### 1 作業療法評価の流れ (p.10)

①

全体像の把握，作業療法プログラムの立案，治療効果の判定，障害の受容（自分自身の客観視）など

②

処方箋の確認，導入面接，作業療法評価，統合と解釈，焦点化，作業療法プログラムの立案，作業療法の実践，作業療法の終了

③

面接，観察，検査測定，他部門からの情報収集

④

受容的態度，共感的態度，傾聴

⑤

対象者の動作・行動，外形や外観上の病的変化，身ぶりや態度，表情などの非言語的な表現

⑥

心身機能・身体構造，活動，参加

⑦

環境因子，個人因子

### 2 記録と報告 (p.22)

①

治療行為の明確化，治療内容の確認と改善，関連職種への情報提供，研究や教育のため，問題に対する法律的保護のため，部門の管理運営のため

②

初診時記録をまとめたとき，治療計画および作業療法プログラムを変更したとき，作業療法経過をまとめたとき，治療経過に変化がみられた

とき，事故を起こしたとき，作業療法を終了したとき

③

記録は評価あるいは治療後なるべく早い時期に書く。その際は，日付と記録者の名前（サイン）を忘れないようにする。また，他から集めた情報には，必ず情報源を記録する。

文章は，対象者を主体として（3人称文体）事実を正確に記述する。また，読みやすく，簡潔明瞭・客観的に適切な医学専門用語を用いて，誰が読んでも理解できるように記述する。

④

S：主観的情報，O：客観的情報，A：評価，P：計画を記録する。